

事務事業名	白根八田学校給食センター給食事業(保育所給食)		所属部局	教育委員会	単位番号	12001									
			所属課室	教育総務課	課長名	樋口 敏明									
	☐ 実施計画事業		所属担当	白根八田学校給食センター	担当者名	中込 信									
基本政策	基本計画	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	1	0	5	0	3	0	2	0	0	1
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業										
				☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業										
		☐ 市の制度による義務的事業		☒ その他の事業											
事業期間	☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)	法令根拠												
	☐ 期間限定複数年度 (年度)														
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 保育所安心安全に提供するための事業 (巨摩保育所・白根保育所・百田保育所・白根東保育所・八田保育所・芦安保育所)6施設 平均給食日数は 244回 1日平均 602食を提供 保育所 3才以上児数 483名 職員数 95名 保育所 3才以上児一食単価 190円 おやつ代 43円 月額 4,900円 (12ヶ月) 学校栄養士による食育の指導			事業費の主な内訳 (22年度)											
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)								
				賄材料費	41,003	臨時職員賃金	7,139								
				調理消耗品	1,465										
				印刷製本費	62										
			保育所給食配送委託料	6,475											
						計	56,144								

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	栄養士2名(県職員)⇒献立作成。賄い材料の発注。調理員の指導。児童に食育の指導
	23年度活動予定	栄養士2名(県職員)⇒献立作成。賄い材料の発注。調理員の指導。児童に食育の指導
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	保育所児・保育所職員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	給食を美味しく食べることが出来る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	給食を美味しく食べられ、正しい食習慣を身につけるとともに、健康で健全な心身の育成を図れるようになる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 平均給食日数	日
	イ 一日当たりの平均給食数	食
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 保育所児数	人
	イ 保育所職員数	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 給食が美味しいと答えた保育所児の割合	%
	イ 病気による欠席率	%
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 食習慣を理解した保育所児の割合	%

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円	39,136	41,003	41,003	41,003	41,003	41,003	41,003	
			一般財源	千円	13,461	15,286	15,286	15,286	15,286	15,286	15,286	
		事業費計 (A)	千円	52,597	56,289	56,289	56,289	56,289	56,289	56,289	56,289	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	2	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,694	1,701	1,701	1,701	1,701	1,701	1,701	1,701	
		人件費計 (B)	千円	7,557	7,588	6,739	6,739	6,739	6,739	6,739	6,739	
	(A)+(B)			千円	60,154	63,877	63,028	63,028	63,028	63,028	63,028	63,028
	活動指標	ア	日	243.0	242.0	244.0	244.0	244.0	244.0	244.0	244.0	244.0
		イ	食	665.0	716.0	597.0	597.0	597.0	597.0	597.0	597.0	597.0
対象指標	ア	人	574.0	626.0	483.0	483.0	483.0	483.0	483.0	483.0	483.0	
	イ	人	91.0	90.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
成果指標	ア	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	イ	%	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
上位成果指標	ア	%	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
	イ											

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和42年4月から給食開始。今の施設は平成15年から移動 保育所給食は昭和46年4月から開始	保
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	食文化の多様化による保育児童のアレルギー食の対応や、食育指導の強化等学校給食の管理運営が多様化している。	
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	美味しい給食を提供し感謝されている。 職員からの意見、検食簿、保育所試食会で保護者からの声やアンケート	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	芦安地区へは平成22年度を試行期間として4月より小中学校と共に保育所も給食を白根八田学校給食センターで調理し配送している。経費は配送委託料(170100円/年)のみ
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	引き続き4月から白根八田学校給食センターから給食を配送した。

事務事業名	白根八田学校給食センター給食事業(保育所給食)	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 子供たちに美味しい給食を提供するという事は、「生きる力」をはぐむ学校教育の推進という施策の観点からは結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 近年指定管理者制度や、PFIなどによる外部委託の給食が増えており経費だけ見れば削減してるが、給食献立の内容などは食材の質や栄養価が落ちているのも見受けられる。よって市で栄養職員の責任の下、安心できる食材で給食を提供することは市の義務である。またこの施設は防災機能の役割も担っており、災害時には職員が参集炊き出しを行うため、民間には委託できない。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] この地区の保育所給食について特区申請をして認可を受けた地域である。よって何の問題もなく配送を行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 芦安保育所に給食を運ぶことが出来るようになれば、本来の目的は達成されたことになる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] 芦安保育所に給食を運ぶことが出来るようになれば、本来の目的は達成されたことになる。
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] 他の調理場、センターからでは提供が出来ない。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 他の調理場、センターからでは提供が出来ない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 衛生管理を遵守するには、これ以上の削減は厳しい。しかし芦安地区の配送については、今の状態の中でやりくりを行い、配送費のみの増加で抑えられるよう努力していく。芦安小・中学校・保育所給食は、平成22年度は施行期間としているが調理、配送は問題なくしている。配送委託料(170,100円/年)のみである。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 今のセンター職員でもギリギリの人数で時には事務職員も調理室に入るなどの対応しているのでこれ以上の人件費の削減は出来ない。芦安学校給食共同調理場を閉鎖することにより人件費、運営経費削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 芦安地区に配送が出来れば給食費が安くなり、受益者負担の公平性が高まる。保育所給食費は市で統一金額であるが、学校給食費は3段階の単価となっている。現在、芦安地区の給食費は白根八田地区に合わせたので安くなっている。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	芦安地区の給食の配送については、試行を続け、公共施設再配置検討委員会の答申を基に教育委員会としての方向性を出す。 廃止した場合、配送委託費が増加するくらいで、実質的には芦安地区の給食費も安くなり、また維持管理についてもなくなる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☒ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果) (2) 改革改善案について ①施設が廃止になる場合は、代わりに白根・八田学校給食センターから配食する。 ② ③		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要 (5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑦</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>③</td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐			成果優先度評価結果	⑦	コスト削減優先度評価結果	③
		コスト水準																										
		削減	維持	増加																								
成果水準	向上	☒	☐	☐																								
	維持	☐	☐																									
	低下	☐																										
成果優先度評価結果	⑦																											
コスト削減優先度評価結果	③																											
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①芦安保育所及び関係者に説明を行い、理解を求める。 ② ③																												